

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月4日

上場会社名 塩野義製薬株式会社

上場取引所 東大

コード番号 4507 URL <http://www.shionogi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 手代木 功

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長

(氏名) 岸田 哲行

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 06-6202-2161

平成21年12月1日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	132,639	26.3	17,838	△3.4	16,397	△13.6	11,591	△2.1
21年3月期第2四半期	105,056	—	18,464	—	18,969	—	11,835	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	34.61	—
21年3月期第2四半期	35.32	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	524,431	326,771	62.2	974.33
21年3月期	501,852	310,093	61.7	924.43

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 326,309百万円 21年3月期 309,635百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
22年3月期	—	18.00			
22年3月期(予想)			—	18.00	36.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280,000	23.1	60,000	87.4	58,000	81.2	35,000	123.5	104.49

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	351,136,165株	21年3月期	351,136,165株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	16,228,634株	21年3月期	16,189,825株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	334,924,355株	21年3月期第2四半期	335,073,058株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想が含まれております。競合状況等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測数値と大幅に異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の医薬品業界は、国内におきましては、政権交代を挟んで、医療費の抑制に向けての議論に不透明感が増す一方、グローバル製品の特許切れ問題などもあり、製薬各社によるM&Aの動きなども活発に進められました。

このような状況におきまして、当社グループは、昨年10月に米国医薬品会社サイエルファーマ, I N C. を連結子会社化し、第二次中期経営計画の最終年度である2009年度は、グローバル化への本格スタートの年となりました。研究開発面におきましては、グローバル開発品が順調にステージを進展し、製造面におきましては、グローバル展開に対応できる品質・生産体制の構築を進める一方で、原材料の価格低減、工程改善などによる原価低減についての努力を続けております。販売面では、高コレステロール血症治療薬「クレストール」に加え、高血圧症治療薬「イルベタン」を昨年7月に発売し、MS領域におけるシェア拡大が順調に進展しております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上面では、医療用医薬品において「クレストール」が大きく増加し、昨年発売しました「イルベタン」「ディフェリン」「ピレスパ」が寄与することで市場の縮小の影響などによる抗生物質などの減少をカバーし、医療用医薬品全体の売上高は増加となりました。その他では、アストラゼネカ社による海外での「クレストール」の販売増によりロイヤリティー収入が増加したほか、ジョンソン・エンド・ジョンソン社向け「輸出用ドリペネム」が増加しました。また、昨年連結子会社となりました米国医薬品会社サイエルファーマ, I N C. の売上が加わることによりまして、全体の売上高は1,326億3千9百万円で前年同期比26.3%の増となりました。

利益面におきましては、ロイヤリティー収入の増加やサイエルファーマ, I N C. の利益が加わることによりまして原価率が改善し、売上総利益は32.8%の増となりました。一方、販売費及び一般管理費が研究開発費やのれん償却費などが増加したことにより45.4%と大幅に増加したため、当第2四半期連結累計期間の営業利益は178億3千8百万円で前年同期比3.4%減となり、経常利益も163億9千7百万円で前年同期比13.6%の減となりました。また、四半期純利益は115億9千1百万円で前年同期比2.1%の減となりました。

研究開発活動の状況につきましては、現在申請中の薬剤としましては、抗うつ薬（一般名：塩酸デュロキセチン）があります。その他、現在、肥満症治療薬、抗インフルエンザ薬、抗H I V薬、アトピー性皮膚炎治療薬などの薬剤の開発を進めております。特に、抗インフルエンザ薬（一般名：ペラミビル）につきましては、社会的な期待も高いため、スケジュールを前倒しし10月に製造販売承認申請を行いました。

こうした活動の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発費は279億1千7百万円となり、売上高に対する比率は21.0%となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の資産合計は5,244億3千1百万円で、前連結会計年度末と比べて225億7千8百万円増加しました。流動資産は前連結会計年度末より214億4千6百万円増加し、2,241億7千万円となっております。これは主として社債の発行による手元資金（有価証券）の増加によるものです。また固定資産は、前連結会計年度末より11億3千2百万円増加し、3,002億6千万円となっております。

負債合計は1,976億5千9百万円で、前連結会計年度末と比べて59億円増加しました。流動負債は、短期借入金の返済などにより、前連結会計年度末より164億1千万円減少し、603億9千4百万円となっております。また固定負債は、社債の発行による増加などにより、前連結会計年度末より223億1千万円増加し、1,372億6千5百万円となっております。

純資産合計は3,267億7千1百万円で、前連結会計年度末に比べて166億7千7百万円増加しました。株主資本は、四半期純利益による増加や配当金の支払による減少などにより、前連結会計年度末より68億2千6百万円増加し、3,334億4千2百万円となっております。また、評価・換算差額等は、為替換算調整勘定の増加及びその他有価証券評価差額金の増加により、前連結会計年度末より98億4千7百万円増加し、71億3千2百万円のマイナスとなりました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、206億3千万円の収入で、主な内訳は、税金等調整前四半期純利益163億5千万円、減価償却費86億5千6百万円、法人税等の支払額89億7百万円などであり、前年同期比22億8千7百万円の増となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、有形固定資産の取得による支出42億6千万円や、投資有価証券の取得による支出37億1千1百万円、投資有価証券の償還による収入50億円などにより、52億8千8百万円の支出となりました。投資有価証券売却による収入181億9千6百万円のあった前年同期比139億9千9百万円の減となりました。

また、「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、短期借入金の返済100億円、長期借入金の返済70億円、社債の発行による収入300億円、配当金の支払46億8千8百万円を中心に、80億5千1百万円の収入となり、前年同期比126億8千1百万円の増となりました。

これらを合わせた当第2四半期連結累計期間の「現金及び現金同等物の増減額」は237億7千6百万円の増となり、当第2四半期連結会計期間末の「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、753億1千2百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

現時点におきましては、平成21年8月3日発表の業績予想を変更しておりません。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当する事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき重要な事項はありません。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

（在外連結子会社の収益及び費用の換算方法の変更）

在外子会社等の収益及び費用の換算基準については、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、期中平均の直物為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この変更は、各在外連結子会社等の決算日に急激な為替変動があった場合に期間損益に与える異常な影響を排除し、より適正な損益の認識を図るために行ったものです。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては、従来の方法によった場合に比べて、売上高が98百万円減少し、営業利益が4百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ5百万円減少しています。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,753	23,349
受取手形及び売掛金	73,353	75,380
有価証券	53,349	35,453
商品及び製品	23,734	20,632
仕掛品	14,649	12,556
原材料及び貯蔵品	9,338	9,838
その他	20,002	25,525
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	224,170	202,724
固定資産		
有形固定資産	70,289	71,811
無形固定資産		
のれん	73,623	71,625
その他	51,277	48,763
無形固定資産合計	124,900	120,388
投資その他の資産		
投資有価証券	67,234	66,813
その他	37,958	40,236
貸倒引当金	△121	△121
投資その他の資産合計	105,071	106,928
固定資産合計	300,260	299,128
資産合計	524,431	501,852
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,784	15,444
短期借入金	—	10,000
1年内返済予定の長期借入金	14,000	14,000
未払法人税等	6,032	8,131
賞与引当金	6,532	5,325
その他の引当金	1,472	2,336
その他	17,571	21,566
流動負債合計	60,394	76,804
固定負債		
社債	30,000	—
長期借入金	84,337	91,000
退職給付引当金	7,946	7,793
その他の引当金	—	155
その他	14,981	16,005
固定負債合計	137,265	114,954
負債合計	197,659	191,759

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,279	21,279
資本剰余金	20,227	20,227
利益剰余金	311,663	304,761
自己株式	△19,728	△19,652
株主資本合計	333,442	326,616
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,227	8,207
為替換算調整勘定	△17,360	△25,188
評価・換算差額等合計	△7,132	△16,980
少数株主持分	461	458
純資産合計	326,771	310,093
負債純資産合計	524,431	501,852

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	105,056	132,639
売上原価	32,979	36,861
売上総利益	72,077	95,778
販売費及び一般管理費	53,613	77,939
営業利益	18,464	17,838
営業外収益		
受取利息	628	219
受取配当金	644	648
その他	392	278
営業外収益合計	1,664	1,145
営業外費用		
支払利息	35	897
寄付金	632	703
その他	491	985
営業外費用合計	1,158	2,586
経常利益	18,969	16,397
特別利益		
投資有価証券売却益	212	—
特別利益合計	212	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	47
災害による損失	157	—
たな卸資産評価損	89	—
投資有価証券売却損	25	—
特別損失合計	272	47
税金等調整前四半期純利益	18,909	16,350
法人税、住民税及び事業税	6,026	6,499
法人税等調整額	1,027	△1,747
法人税等合計	7,054	4,752
少数株主利益	19	7
四半期純利益	11,835	11,591

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,909	16,350
減価償却費	5,549	8,656
のれん償却額	—	1,904
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△45	—
受取利息及び受取配当金	△1,272	△867
支払利息	35	897
為替差損益(△は益)	△45	259
売上債権の増減額(△は増加)	5,325	2,488
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,841	△4,556
仕入債務の増減額(△は減少)	1,041	△778
その他	△91	5,031
小計	24,566	29,385
利息及び配当金の受取額	1,295	881
利息の支払額	△14	△730
法人税等の支払額	△7,504	△8,907
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,342	20,630
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,667	△2,487
定期預金の払戻による収入	2,492	2,177
有価証券の取得による支出	△19	△464
有価証券の売却及び償還による収入	2,020	2,342
有形固定資産の取得による支出	△6,145	△4,260
有形固定資産の売却による収入	36	5
投資有価証券の取得による支出	△1,012	△3,711
投資有価証券の売却による収入	18,196	—
投資有価証券の償還による収入	—	5,000
貸付金の回収による収入	3	97
その他	△4,193	△3,987
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,710	△5,288
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	△10,000
長期借入れによる収入	—	337
長期借入金の返済による支出	—	△7,000
社債の発行による収入	—	30,000
配当金の支払額	△4,020	△4,688
少数株主への配当金の支払額	△2	△2
その他	△607	△594
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,630	8,051
現金及び現金同等物に係る換算差額	△143	383
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	22,280	23,776
現金及び現金同等物の期首残高	67,609	51,536
現金及び現金同等物の四半期末残高	89,889	75,312



## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当する事項はありません。

## (5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める医薬品及びその関連する事業の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	113,405	18,370	863	132,639	—	132,639
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	146	1,638	27	1,812	(1,812)	—
計	113,552	20,009	890	134,452	(1,812)	132,639
営業利益	18,867	669	205	19,743	(1,904)	17,838

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	17,737	3,714	21,452
II 連結売上高（百万円）	—	—	105,056
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	16.9	3.5	20.4

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	23,037	22,505	2,102	47,644
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	132,639
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	17.3	17.0	1.6	35.9

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当する事項はありません。